

令和4年度文化財保護・調査・普及事業の報告について

1. 保護・調査事業

① 取掛西貝塚保存事業

報告3「取掛西貝塚保存活用事業」で報告いたします。

② 開発等に伴う埋蔵文化財に関する業務

開発等事業者と調整協議し、必要な発掘調査の実施等、埋蔵文化財保護業務を実施した。(業務実績については、別添資料 pp.6～9 掲載。)

③ 開発等に伴う発掘調査(本調査) 8件

No.	遺跡名	時代・主な検出遺構	備考
1	川ノ上遺跡(9)	縄文時代竪穴住居跡・土坑、近世以降溝	令和5年5月12日まで調査
2	上ホシ遺跡(11)	縄文時代竪穴住居跡・土坑	
3	中法伝貝塚(17)	縄文時代土坑、中世台地整形区画・地下式坑・井戸跡・火葬施設	
4	東中山台遺跡群(67)	縄文時代竪穴住居跡・炉穴・土坑、奈良～平安時代竪穴住居跡	
5	東中山台遺跡群(80-2)	古墳時代竪穴住居跡、奈良～平安時代竪穴住居跡、中世台地整形区画・火葬施設	
6	ユルギ松遺跡(8-3)	中～近世土坑・道路跡・溝状遺構	
7	ユルギ松遺跡(10-1)	中世土坑・道路跡、中～近世道路跡・溝状遺構	
8	ユルギ松遺跡(10-2)	縄文時代ピット、中世台地整形区画・土坑・道路跡、中～近世土坑・道路跡・溝状遺構	

※他に確認調査25件を実施。

④ 発掘調査報告書刊行 10冊

No.	報告書名	時代・主な検出遺構	備考
1	令和4年度船橋市内遺跡発掘調査報告書	確認調査4件分、海老ヶ作貝塚整理作業	国庫補助事業
2	<small>なかのきむかいせき</small> 中野木向遺跡(5)	縄文時代竪穴住居跡・土坑、奈良～平安時代竪穴住居跡、近世溝状遺構	直営
3	<small>みやもとだいいせきぐん</small> 宮本台遺跡群(84)	縄文時代竪穴住居跡・土坑・ピット	直営
4	<small>なつみだいいせき</small> 夏見台遺跡(74)	弥生時代竪穴住居跡、古墳時代竪穴住居跡・掘立柱建物跡・土坑他	直営

5	<small>みやもとだいせいせきぐん</small> 宮本台遺跡群 (52)	古墳時代堅穴住居跡・ピット	直営
6	<small>ほうづかいせき</small> 宝塚遺跡 (1・2)	古墳時代堅穴住居跡	委託
7	<small>あずまちょうせいせき</small> 東町遺跡 (3)	中世台地整形区画・掘立柱建物跡・地下式坑・土壙墓・火葬施設	委託
8	<small>なつみだいせいせき</small> 夏見台遺跡 (75)	縄文時代陥穴、古墳時代堅穴住居跡、奈良～平安時代堅穴住居跡・掘立柱建物跡	委託
9	<small>ひがしなかがやまいせいせきぐん</small> 東中山台遺跡群 (81)	縄文時代陥穴、奈良～平安時代堅穴住居跡、中～近世掘立柱建物跡・溝状遺構	委託
10	<small>なつみだいせいせき</small> 夏見台遺跡 (52)	弥生時代堅穴住居跡	委託

⑤ 未指定文化財の調査

新型コロナウイルス感染症の拡大のため、令和3年度に引き続き、多くの民俗行事が中止となったため、未指定文化財の調査は4件（水神祭・八劔神社例大祭・三山のオビシャ・古和釜のマアチ）行った。

このほか、明治時代の騎兵旅団の建造物である東邦大学 旧武道場の解体に伴い、金出委員の指導のもと、郷土資料館と合同で写真等の記録をとり、資料を収集した。

⑥ しものまきふたわのま 下野牧二和野馬土手の草刈り

年2回（7月・10月）草刈を実施した。

⑦ 指定文化財補助事業

「船橋市文化財保護事業補助金交付要綱」に基づき、22件の指定・登録文化財の所有者等に管理伝承費の補助を行った。また、下記の2件に修理等費用の補助を行った。

文化財名	修繕等内容
<small>はしごのきやうた</small> 梯子乗りと木遣り歌	梯子等用具購入
高根町神明社の神楽	衣裝修繕・150周年記念事業

⑧ 文化財防火デー

1月26日の文化財防火デーに合わせて、例年4～5か所で、消防署・文化財所有者・近隣住民と協力して消防訓練を実施している。令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、1か所で開催した。このほか、1か所で文化財所有者とごく一部の関係者で避難訓練や消火訓練のみを実施した（令和2年度はすべて中止）。

2. 普及事業

市内にある文化財の活用・公開を促進するとともに、文化財の周知に努めた。文化財説明板設置、遺跡見学会や取掛西貝塚の国史跡指定を記念した展示・講演会の開催、講師派遣、ホームページ作成・更新を行った。今後も文化財の活用・公開を促進するとともに、文化財の周知に努めていく。

① 文化財説明板の設置 2か所設置

2基の説明板を設置した。

英語の併記に加え、中国語(簡体字)の解説をホームページで閲覧可能とした。

No.	文化財・遺跡名	設置場所	備考
1	八十八ヶ所札所大絵馬	船橋市飯山満町1丁目581番(能満寺)	市指定文化財
2	八十八ヶ所札所大絵馬	船橋市高根町1226番(観行院)	市指定文化財

② 刊行物 『船橋市の文化財』改訂 1000部 900円で有償頒布

市ホームページと全国遺跡報告総覧のページでPDF形式データを公開。

③ 遺跡見学会・体験発掘

7回 参加者総数 1227人

令和4年度は6箇所の遺跡にて実施、本調査の現場では、フェンスなどに現場・遺物写真に説明を加えたものを掲示するなど、近隣への周知を図っている。

No.	遺跡名	開催日	見学者数
1	東中山台遺跡群(80-2) 見学・体験発掘	8月9日(火)	4人
2	東中山台遺跡群(80-2) 遺跡見学会	10月8日(土)	300人
3	ユルギ松遺跡(10-1・2) 遺跡見学会	11月19日(土)	225人
4	海老ヶ作北遺跡(6) 遺跡見学会	12月17日(土)	210人
5	東中山台遺跡群(67) 遺跡見学会	1月26日(木)	24人
6	上ホシ遺跡(11) 遺跡見学会	1月28日(土)	78人
7	川ノ上遺跡(9) 遺跡見学会	3月4日(土)	386人

④ 展示・講演会 埋蔵文化財

2件 参加総数 390人

名称	会期	参加者数
取掛西貝塚講演会 「～約1万年前の縄文ワールド 第5弾～ 取掛西貝塚を考 える」きららホール	3月11日(土) 3月18日(土)	390人
展示「発掘された日本列島 2022」	6月11日(土)～ 2月12日(日)	

⑤ -1 講師派遣・講座 埋蔵文化財

11回 参加者総数 466人

No.	講演名	開催日	参加者数
1	出前講座【国史跡取掛西貝塚を知ろう】(高根台公民館)	6月15日 (水)	80人
2	関東考古学フェア【発掘された関東の遺跡 2022】 (埼玉県立歴史と民俗の博物館)	6月26日 (日)	81人
3	出前講座【遺跡から見る地域の歴史】(中央公民館)	9月6日(火)	21人
4	【取掛西貝塚】(市原市ちはら台コミュニティーセンター)	9月10日 (土)	40人
5	中央ふれあい学級【遺跡発掘のお話し】(中央公民館)	10月12日 (水)	30人
6	出前講座【国史跡取掛西貝塚を知ろう】(新高根公民館)	10月23日 (日)	49人
7	出前講座【国史跡取掛西貝塚を知ろう】(高根公民館)	11月9日 (水)	30人
8	出前講座【国史跡取掛西貝塚を知ろう】(法典公民館)	11月10日 (木)	33人
9	千葉県教員研修会(社会科小学校高学年・中学年部会)	1月11日 (水)	40人
10	出前講座【国史跡取掛西貝塚を知ろう】(緑台町会会館)	2月19日 (日)	23人
11	市民大学校「くらしの教養学科」 【船橋初! 国史跡指定取掛西貝塚】(総合教育センター)	2月26日 (日)	39人

⑤ -2 講師派遣・講座 歴史文化財

講演名(担当)	開催日	参加者数
出前授業 野馬土手 二和小学校4年生3クラス	9月16日	91人
出前授業 野馬土手 二和小学校5年生3クラス	11月14日	79人
出前授業 野馬土手 二和小学校3年生3クラス	11月22日	81人

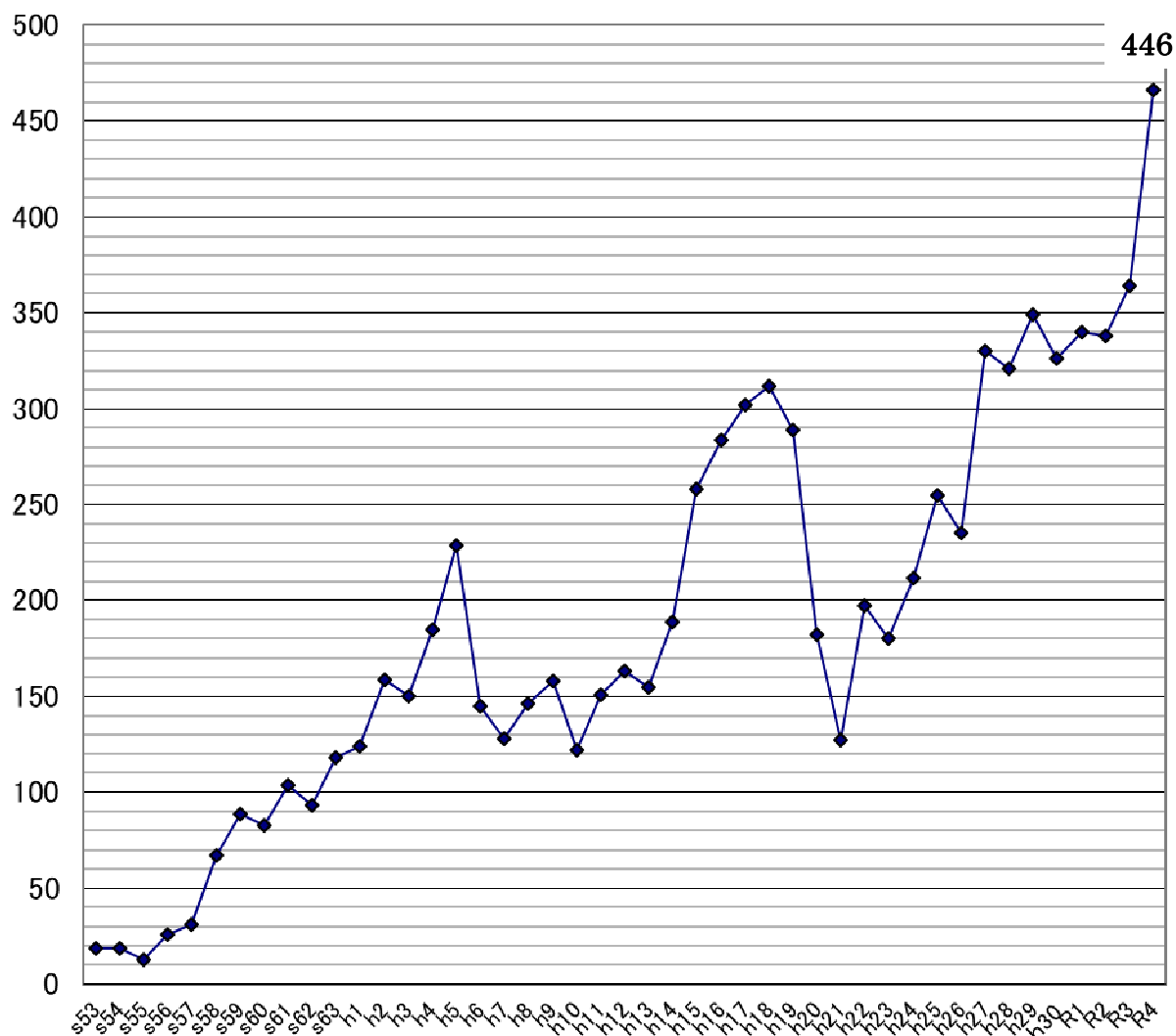
市指定史跡 下野牧二和野馬土手について、学校に出向き授業を行った。指定となった翌年の平成30年度から、隣接地にある二和小学校3年生を対象に行っている。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、令和2・3年度は授業を行わなかったことから、令和4年度は、授業を受けていない4・5年生にも授業を行った。

⑥ 研修生・職場体験受け入れ

名称	学校・団体名	受入日	参加者数
なし			

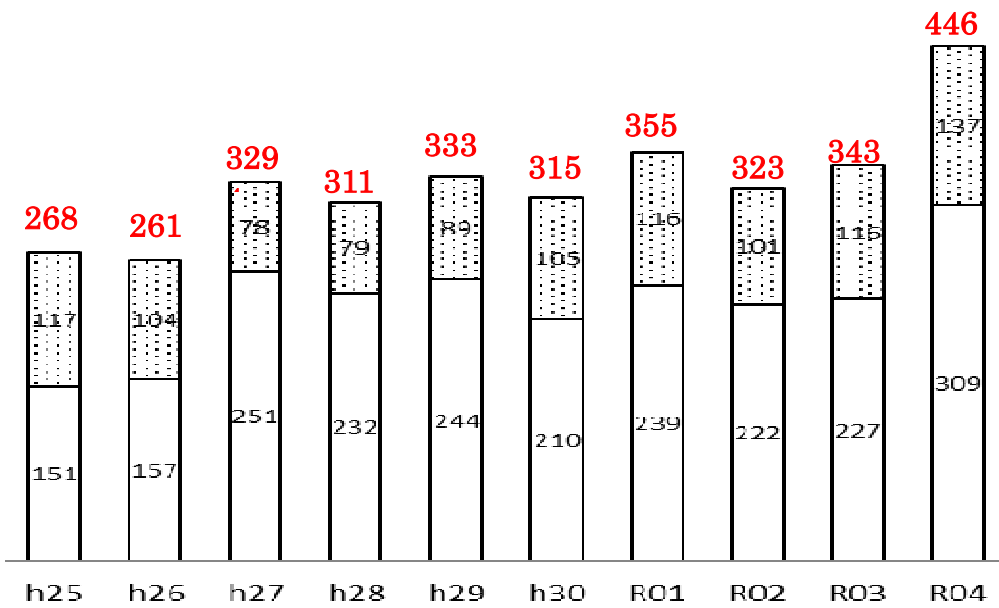
埋蔵文化財に関する統計資料（令和4年度）

1. 照会件数の推移（長期）



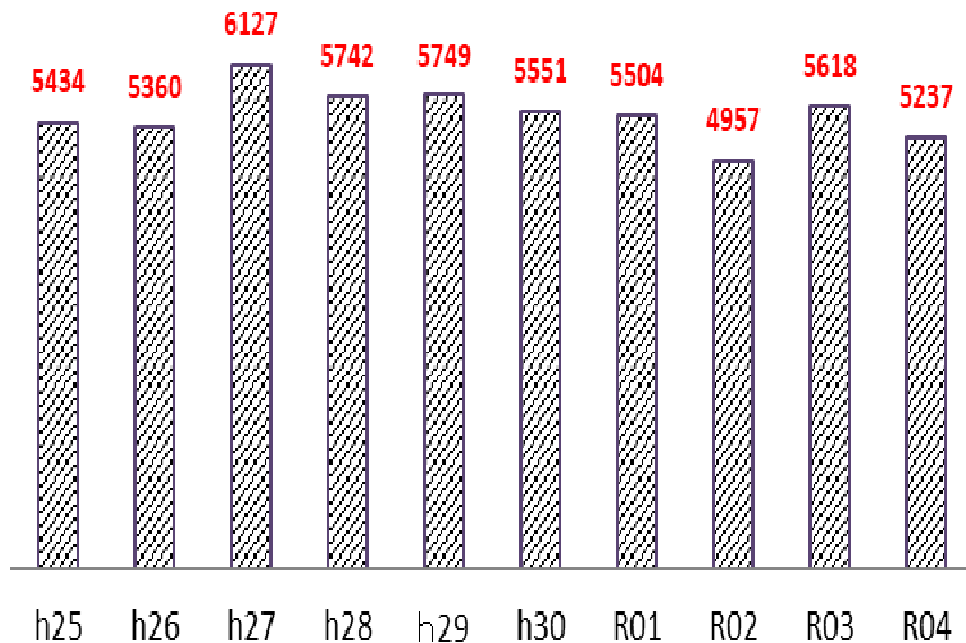
2. 文書照会件数

□有 □無



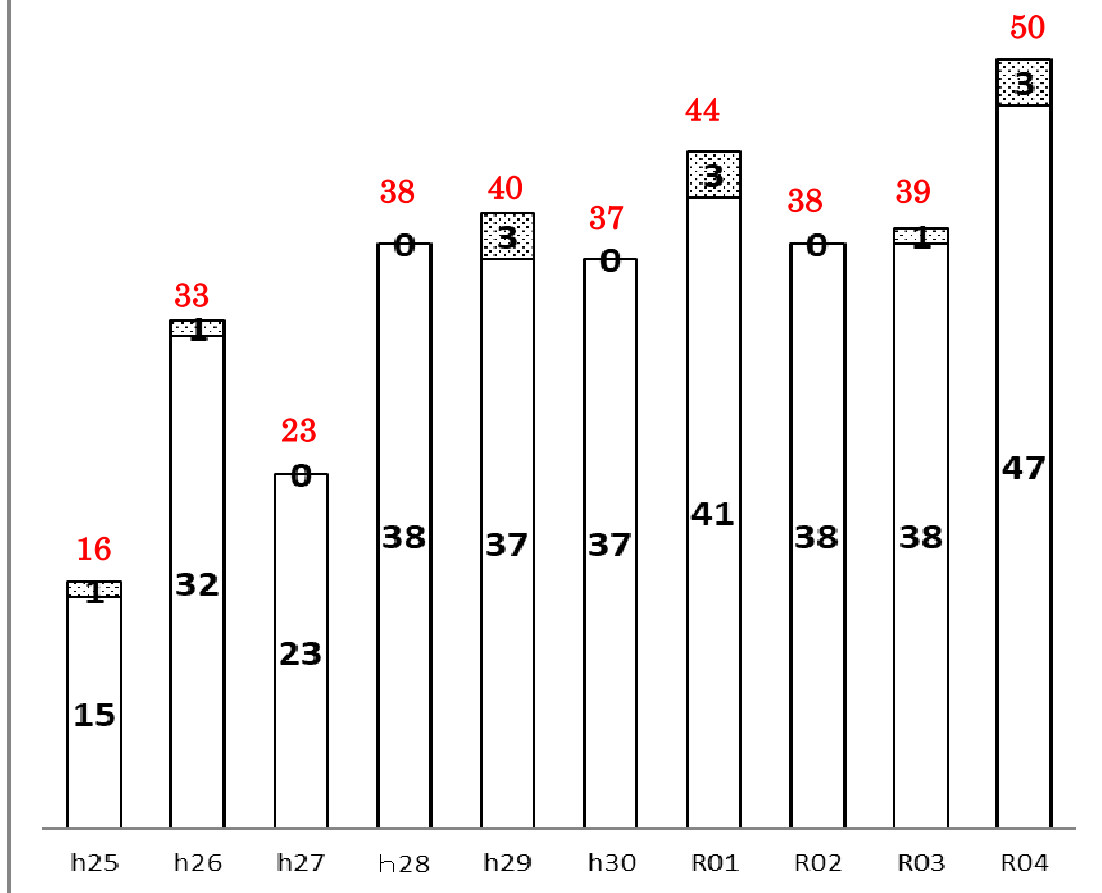
3. 窓口等の問合せ件数

▨件数



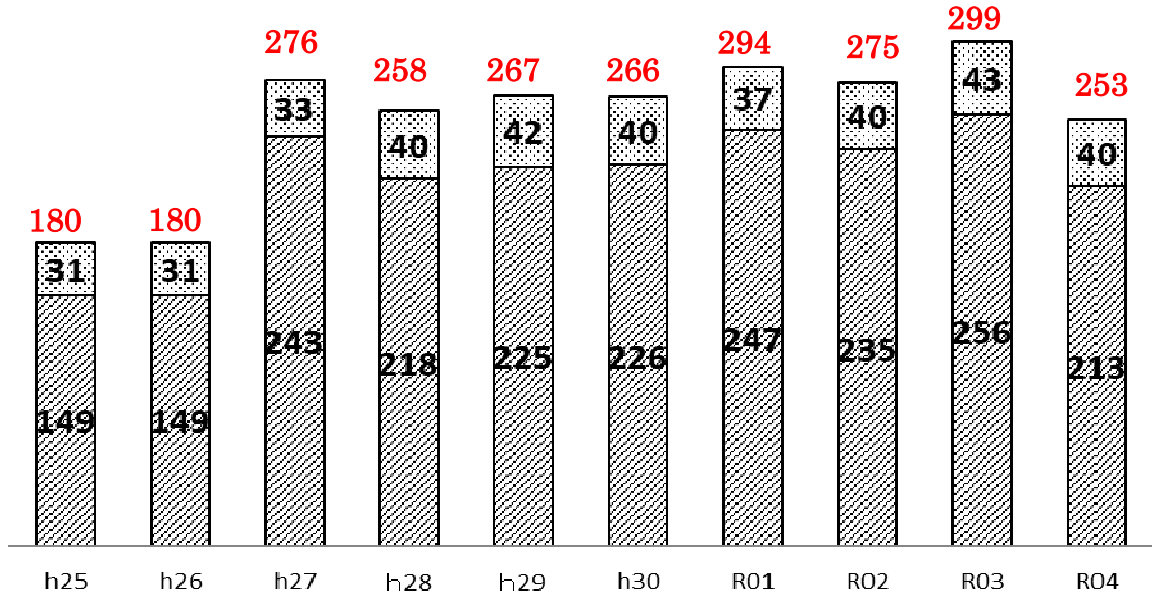
4. 試掘件数

□ 試掘(包蔵地内) ▨ 試掘(包蔵地外)



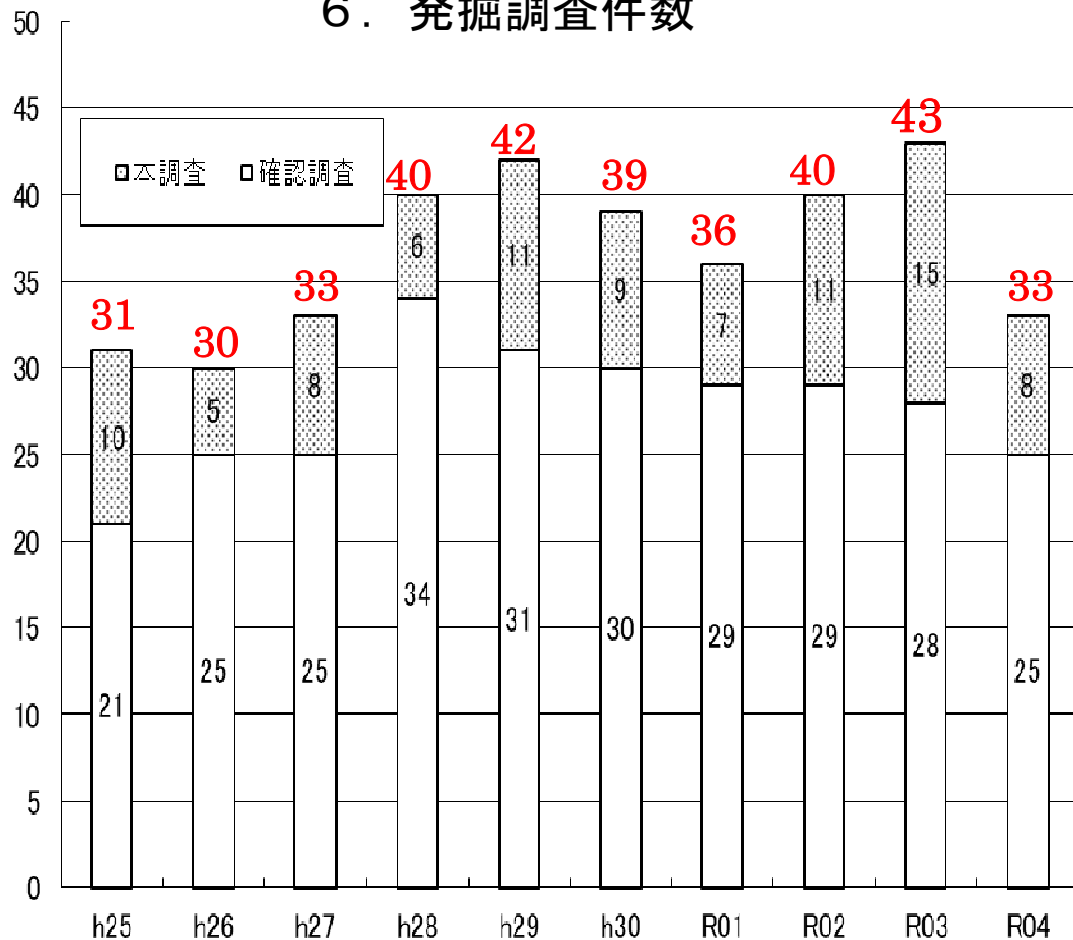
5. 土木工事届出等件数

93・94・96条 (土木工事)
 92・99条 (発掘調査)



件数

6. 発掘調査件数



令和5年度文化財保護・調査・普及事業の計画について

1. 文化財保護・調査

開発等事業者と調整協議し、必要な発掘調査の実施等、埋蔵文化財保護業務を実施する。また、文化財審議会委員や各分野の研究者の協力を得て、指定・未指定の文化財の調査を継続して行う。必要に応じて、郷土資料館・飛ノ台史跡公園博物館と連携する。

① 取掛西貝塚保存事業

取掛西貝塚保存活用計画策定委員会を運営し、計画策定を進める。また、総括報告書で残された課題について研究を継続し、遺跡の価値をさらに高める。

市民に取掛西貝塚を広く知っていただくため、講演会を実施する。

② 開発等に伴う発掘調査予定

No.	遺跡名	時代・主な検出遺構	備考
1	かわのうえ 川ノ上遺跡 (9)	中・近世溝状遺構他	直営 (終了)
2	ひがしなかやまだい 東中山台遺跡群 (85)	奈良・平安時代竪穴住居跡他	直営
3	さかのうえ 坂ノ上遺跡 (1)	中近世溝状遺構他	直営
4	ユルギ松遺跡 (13)	縄文時代竪穴住居跡他	委託予定
5	その他本調査 5 件予定	縄文時代、奈良・平安時代	直営・委託
	その他 確認調査 40 件予定	縄文時代～中・近世	直営 (市内遺跡 5 件含む)

③ 報告書刊行予定

No.	遺跡名	時代・主な検出遺構	備考
1	令和5年度船橋市内遺跡発掘 調査報告書	確認調査 5 遺跡・海老ヶ作貝 塚整理作業	国庫補助事業
2	このだ 小野田遺跡 (2)	縄文～平安時代竪穴住居跡、 中世台地整形区画他	直営
3	川ノ上遺跡 (9)	縄文時代中期竪穴住居跡、中・ 近世溝状遺構他	直営
4	東中山台遺跡群 (67)	縄文時代早期炉穴・前期竪穴 住居跡他	直営
5	東中山台遺跡群 (80)	奈良・平安時代竪穴住居跡、 中・近世台地整形区画他	(80) (80-2) 合本・ 委託

6	じょう 上ホシ遺跡 (11)	縄文時代早期・中期竪穴住居跡・土坑他	委託
7	なかほうでん 中法伝貝塚 (17)	縄文時代土坑、中～近世台地整形区画他	委託

④ 市費単独整理作業

遺跡名	時代・主な検出遺構	備考
えびがさく 海老ヶ作貝塚(2)	縄文時代中期竪穴住居跡他	整理作業（一部委託）
取掛西貝塚継続研究	縄文時代早期竪穴住居跡他	動物骨・植物関連分析
平成27・28年度船橋市市費単独事業遺跡発掘調査	縄文～平安時代竪穴住居跡・土坑他	整理作業

⑤ 指定・未指定文化財調査予定

文化財名	調査内容	備考
市内の神楽の調査	市内5つの神楽について、記録を作成する。	
市内の祭礼の調査	市内で行われる祭礼の調査。	
市内の古民家調査	古民家の調査し、記録保存を行う。	

⑥ 下野牧二和野馬土手

年2回草刈を実施し、保護に必要な維持管理続けていく。近隣の二和小学校の3年生を対象に野馬土手の貴重性を伝えていく授業を実施する。

⑦ 指定文化財補助事業

市内の指定・登録文化財の管理伝承費や緊急修繕等に対し、補助を行っていく。

2. 普及事業

引き続き、文化財説明板の設置を行う等、普及活動を積極的に行う。

① 文化財・遺跡説明板の設置・改修予定

文化財・遺跡名	設置場所	設置数
文化財説明板の新設・建替え	検討中	2基予定
遺跡説明板の新設	検討中	3基予定

② 刊行物

普及用遺跡マップ(第8版)1万部と取掛西貝塚パンフレットおよびリーフレット2万部を刊行し、すでに昨年度に刊行した児童用取掛西貝塚パンフレットとあわせて市内の小中学校(中学1年生・小学3・6年生全員)に重点的に配布し、市内博物館・図書館等公共施設で市民に配布する予定。

No.	刊行物名	主な内容	販売・配布先
1	遺跡マップ 第8版	1万部・無料	市内中学校1年生・博物館・公民館等に配布
2	取掛西貝塚 1万年前の貝塚からみえる暮らしと環境	2万部・無料	市内小学校3年生・博物館・公民館等に配布
3	リーフレット「取掛西貝塚ってどんな遺跡??」	2万部・無料	市内中学校1年生・博物館・公民館等に配布

③ 遺跡見学会開催予定

遺跡名	開催日
東中山台遺跡群(85) ユルギ松遺跡(13)等(開発等に伴う発掘調査)	開催可能時

④ -1 講師派遣・講座予定 埋蔵文化財

No.	講演名(担当)	開催日	参加人数(予定)
1	まちづくり出前講座【遺跡から見る地域の歴史】 (海神公民館)	5月19日(金)	30人
2	中央公民館 寿大学【取掛西貝塚】	6月14日(水)	
3	まちづくり出前講座【遺跡から見る地域の歴史】 (ローゼンホーム上山)	6月28日(水)	15人
4	まちづくり出前講座【遺跡から見る地域の歴史】 (丸山公民館)	11月8日(水)	50人
5	まちづくり出前講座【遺跡から見る地域の歴史】 (丸山公民館)	11月17日(金)	50人
6	縄文大学(飛ノ台史跡公園博物館) 市民文化創造館	11月22・28・ 12月6日(水)	
7	まちづくり出前講座【国史跡 取掛西貝塚を知ろう】 (丸山公民館)	12月15日(金)	100人
8	まちづくり出前講座【国史跡 取掛西貝塚を知ろう】 (三田公民館)	令和6年 1月11日(木)	80人

9	ふなばし市民大学校【取掛西貝塚について】	令和6年 2月22日(木)	72人
10	史跡取掛西貝塚講演会 市民文化創造館	3月9日(土)	
11	考古学講座(飛ノ台史跡公園博物館) 海神公民館	1月13・20・27日 (土)	

④-2 講師派遣・講座予定 歴史文化財

No.	講演名(担当)	開催日	参加人数 (予定)
1	まちづくり出前講座【市の文化財】(宮本公民館)	6月22日(木)	30人
2	出前授業 野馬土手 二和小学校3年生	未定	

⑤ 研修生・職場体験受け入れ予定

名称	学校・団体名	受入日	参加者数
未定			

3. その他

(仮)「ふなばし子ども歴史・文化施設スタンプラリー」の開催

小学生を中心とした子どもを対象に、地域の歴史等に関心を持ってもらうことを目的として、歴史や文化財等に関する施設を巡るスタンプラリーを、夏休みに合わせて開催予定。

海ノ民話のまちプロジェクト2023

日本財団が推進する「海と日本プロジェクト」の一環として実施するもので、市は実行委員会に参加します。海に関わる民話「雪どけ塚の蛇」を題材としたアニメーションを作成します。年度内にアニメーションが完成し、上映会やフィールドワークを実施する予定です。

取掛西貝塚保存活用事業の報告について

1. 令和4年度事業報告

(1) 史跡取掛西貝塚保存活用計画の策定

令和5年度の計画策定に向け、史跡取掛西貝塚保存活用計画策定委員会で検討を行いました。

(2) 継続研究の実施

植物遺体の継続調査と動物遺体の基礎データ確認を行いました。

(3) 「発掘された日本列島 2022」展への出品

「発掘された日本列島」展は、日本各地で行われている発掘調査のうち、全国的に注目された成果を多くの方にご覧いただくことを目的に、文化庁が平成7(1995)年度から開催している全国巡回展です。この「発掘された日本列島 2022」展に史跡取掛西貝塚の出土品を出品しました。開催館と展示期間は以下のとおりです。

- ① 埼玉県立歴史と民俗の博物館(埼玉県さいたま市)
令和4年6月11日(土)～7月18日(月・祝)
- ② だて歴史文化ミュージアム(北海道伊達市)
令和4年7月30日(土)～9月4日(日)
- ③ 石巻市博物館(宮城県石巻市)
令和4年9月17日(土)～10月23日(日)
- ④ 宮崎県総合博物館(宮崎県宮崎市)
令和4年11月5日(土)～12月11日(日)
- ⑤ なら歴史芸術文化村(奈良県天理市)
令和5年1月7日(土)～2月12日(日)

(4) 関東考古学フェア「発掘された関東の遺跡 2022」

講師：白崎 智隆(埋蔵文化財調査事務所)

千葉県船橋市「史跡取掛西貝塚」(船橋市)

場所：埼玉県立歴史と民俗の博物館

日時：令和4年6月26日(日)

参加者数：81人

(5) 講演会「取掛西貝塚講演会～1万年前の縄文ワールド第5弾～」

船橋市民文化創造館で、2週連続で専門家を招いて講演会を開催しました

(参加者 延べ390人)

令和5年度 第1回文化財審議会
報告(3) 取掛西貝塚保存活用事業

① 令和5年3月11日(土) 13:30~16:00

講師: 工藤 雄一郎氏(学習院女子大学 国際文化交流学部 日本文化学科 准教授)

「最終氷期末から後氷期への環境変化と縄文文化の成立~取掛西貝塚の意義」

参加者数: 198人

② 令和5年3月18日(土) 13:30~16:00

講師: 黒住 耐二氏(千葉県立中央博物館 資料管理研究科 上席研究員)

「貝類からみた取掛西貝塚」

参加者数: 192人

(6) 普及用パンフレットの配布

取掛西貝塚の周知のため、市内小学3年生に児童向けパンフレット、小学6年生にリーフレット、中学1年生に中級編パンフレットと遺跡マップを配布しました。今後も、毎年、配布する予定です。

① 児童向けパンフレット「1万年前の世界をのぞいてみよう 取掛西貝塚」

市内小学3年生を中心に配布

② リーフレット「取掛西貝塚ってどんな遺跡?」

市内小学6年生を中心に配布

③ パンフレット「取掛西貝塚 1万年前の貝塚から見える暮らしと環境」

市内中学1年生を中心に配布

④ 「君の足元に眠る 船橋の遺跡マップ」

市内中学1年生を中心に配布

(7) 刊行物と動画のWeb公開

奈良文化財研究所が運営する「全国遺跡報告総覧」に取掛西貝塚のパンフレット等と動画を公開しました

【刊行物】

① 遺跡マップ

② リーフレット「取掛西貝塚ってどんな遺跡?」

③ パンフレット「国史跡取掛西貝塚 1万年前の世界をのぞいてみよう」

④ パンフレット「取掛西貝塚 1万年前の貝塚からみえる暮らしと環境」

【動画】

① 【ダイジェスト版】船橋市初の国史跡、取掛西貝塚のことが約3分でわかる!

② 【PR動画】船橋市初の国史跡誕生!取掛西貝塚(縄文時代) <PV風>

③ 【PR動画】船橋市初の国史跡誕生!取掛西貝塚(縄文時代) <役所手作り風>

2. 令和5年度事業予定

(1) 史跡取掛西貝塚保存活用計画の策定

史跡取掛西貝塚保存活用計画策定委員会で検討し、パブリックコメントを経て、年度内に策定する予定です(施行は6年4月)

(2) 史跡用地の取得

国庫・県費補助金を活用し、史跡用地を取得します。5年度は2件を予定しています(千葉県地方土地開発公社の先行取得分の買戻し含む)。6年度以降も継続して取得する予定です。

(3) 継続研究の実施

前年度から継続して、植物遺体の継続調査と動物遺体の基礎データの確認を行う予定です。

(4) 取掛西貝塚講演会

講師(予定):

野内 秀明氏(元 横須賀市教育委員会)

西野 雅人氏(千葉市埋蔵文化財調査センター 所長)

内容: 縄文海進と貝塚の形成をテーマに、東京湾東岸部と西岸部の貝塚形成の特徴について、2名の講師をお招きして講演いただく予定です。

日程: 令和6年3月9日(土) 13:30~16:30

会場: 市民文化創造館(きららホール)

(5) 普及用パンフレットの配布

継続してパンフレットやリーフレットを小学校3・6年生、中学校1年生に配布するほか、市民に配布します(配布場所: 市文化課、郷土資料館、飛ノ台史跡公園博物館のほか、出張所・公民館・図書館など市施設)。また、遺跡見学会や展示、講演会や出前講座などでも活用します。

(6) 全国史跡整備市町村協議会に加盟

全国史跡整備市町村協議会は、主として史跡名勝、天然記念物及び重要文化的景観を所有する市町村で構成する協議会で、史跡等の保存活用に関する情報交換や陳情等を行っています。船橋市は5年度から加盟しました。総会・エクスカージョン(埼玉県川越市)に参加する予定です。

史跡取掛西貝塚保存活用計画 骨子(案)

＜大綱＞海とともに発展してきた「ふるさと船橋」の歴史的起点である取掛西貝塚の価値と特色を踏まえて、地域の財産として市民とともに永く伝え、守り、活かす

	基本方針		現状	課題	方向性	方法
1. 保存管理	貴重な歴史的財産である取掛西貝塚を恒久的に保存し、未来へ継承する	(1)文化財の保護	指定に同意を得た土地は遺跡全体の約53%。そのうち宅地は0%である。	指定外が規制外となっている	①史跡の追加指定の推進	土地所有者の同意を得て追加指定を進める
			史跡指定地のうち、公有地(千葉県地方土地開発公社による先行取得を含む)は約22%であり、遺跡全体の約12%にとどまっている	所有者の土地利用による遺跡への影響が生じる可能性がある。私有地なので現地活用が困難。	②史跡の公有地化の推進	土地所有者の同意を得て史跡用地取得事業をすすめる
			保護法の規定の範囲で取り扱っている	史跡を保護するための具体的なルールが明示できていない	③地区区分に基づく史跡保存方法の明確化と現状変更取扱基準の設定	現状変更の基準を定める。指定外の管理も方針を定める
		(2)遺跡内の保全	史跡用地や休耕地など雑草の繁茂(隣接する住宅地や畑地への影響が生じている)	①史跡の適切な管理(雑草の繁茂を防ぎ、遺跡内の美化を維持する)	遺跡内の道路・上下水道・電機などのライフライン整備については関係部署・機関と連携体制をつくって協議し、共生できる方法で進める	
	休耕地や用地での雑草の繁茂・不法投棄・斜面地が危険区域・樹木等が繁茂しているが手つかず	傾斜地等での不法投棄、樹木の繁茂があるが所有者が処理しきれない事例がある	②行政の連携による保存管理	市有地外の管理について、所有者の負担を軽減できるよう、行政連携して方法を検討し実施する(農政課・クリーン推進課)		
		市だけでは限界がある一方、市民の参加希望がある	③市民協働による保存管理	市民の理解を得た上で、市民参加型の美化活動など市民協働の維持管理方法を検討し、実現化を目指す		
		具体的な対策がわかっていない	④史跡の適切な管理(傾斜地の崩落防止の検討)	崩落防止を調査・検討し、崩落、もしくは崩落の危険が極めて高いときは防止の措置を実施する		
2. 活用	様々な活用を通じて、取掛西貝塚の本質的価値をわかりやすく、正しく伝え、その魅力を向上させる	(1)知名度の向上	市民アンケート結果	知名度がまだ低い	史跡を広く周知・啓発する	配布物・SNS・講演会などの周知・啓発事業を実施する 遺跡内の住民や地権者、近隣住民の理解を得た上で、可能な現地での活用を進める
		(2)学校教育での活用	教員アンケート結果	学校教育での利用が低い	学校教育における活用を推進する	社会科・総合学習の授業で活用できる教材(例えば刊行物・レプリカ・動画など)の作成や出前授業の枠組みをつくる 社会科以外でも活用できる教材の作成や出前授業の枠組みをつくる 学校教員への周知・啓発を推進する
		(3)生涯学習における活用	小規模な展示、講座などの実施	博物館での小規模な展示、講座などの実施にとどまる	資料館・博物館を拠点とした生涯学習の推進	資料館・博物館の、取掛西貝塚の学習拠点化を進め、現地や市民大学、周辺公民館や図書館など関連施設とのネットワーク化を検討・整備していく
		(4)活用の拡大	単体で講演会などを実施	史跡単体での活用にとどまる	①市内の遺跡や文化財も含めた総合的な活用	市内の遺跡や周辺の文化財も含めた、地域活用計画の策定など地域における総合的な活用を検討する
			単体で講演会などを実施。市外の講師派遣	史跡単体での活用にとどまる	②市域にとどまない、より広範な地域の視点からの活用	市外の遺跡と関連した活用を検討し、実現化を目指す
		(5)市民による活用	アンケート結果	まだ未検討・未実施	市民の「史跡」として市民自ら活用できる史跡を目指す	市民参加型の活用を検討し、実現を目指す
		(6)新たな活用の模索	まだ未検討・未実施	まだ未検討・未実施	文化財の新たな視点における価値の検討	商業・観光に寄与する活用の調査研究
		(7)新たな価値づけと還元	課題がたくさん指摘されている	実施できているが、財政的に厳しい状況	史跡の学術的な調査研究を進め、新たな遺跡の価値を掘り出し、市民に還元するとともに、日本の歴史研究に寄与する	継続的に調査研究を進め、その成果を講演会や刊行物などによる還元・寄与する 調査結果や調査対象資料に研究者がアクセスできる環境を整え、学術連携を進める
3. 整備	3-1. 活用の方針を達成するために必要な整備を進める	(1)活用のための整備	既存の範囲内で小展示している	ほぼ未整備である	①学習拠点化としての資料館・博物館の整備を検討し、推進する	館内展示の充実・更新に必要な施設整備を検討し、推進する 調査結果や調査対象資料に研究者や市民がアクセスしやすい環境を整える
			取掛西貝塚の位置を示す現地案内板などは未設置	市民の現地へのアクセスが容易でなく、わかりにくい	②市民が現地にアクセスしやすい環境を整備する	遺跡内の住民や地権者、近隣住民の快適な住環境と共存する。案内板の設置やトイレ・駐車場の設置など市民が訪れやすい環境を検討し整備する
			説明板を数枚設置している	現地での設置は説明板のみで、現地活用としては不足している	③現地における市民による活用を推進する	遺跡内の住民や地権者、近隣住民の理解を得た上で、説明板の設置や史跡用地を利用した活用方法を検討し、必要な整備を推進する
			指定に同意を得た土地は遺跡全体の約53%。そのうち、公有地(千葉県地方土地開発公社による先行取得を含む)は約22%であり、公有地化は遺跡全体の約12%にとどまっている	整備計画を策定するための指定地・公有地化の長期化	④整備計画の検討	公有地化が進んだ将来に策定する整備計画について調査・検討する
3-2. まちづくりとしての遺跡の整備を進める	(2)保存のための整備	海老川上流域の開発や県道の整備と遺跡が接する	協議を進める	①まちづくりと史跡保護が共生する方法を検討し、進める	関連部署との協議により、まちづくりと史跡保護が共生する方法を検討し、進める	
		看板などの工作物がある	具体的な対策を講じる必要がある	②史跡の景観を保護する	所有者に史跡の保護を啓発し、工作物の撤去・移転の協議を所有者とすすめる	
		施設の老朽化が進んでおり、作業・保管スペースが不足している	施設の老朽化、作業・保管スペースの不足	③調査拠点である埋蔵文化財調査事務所の整備を検討し、推進する	調査拠点である埋蔵文化財調査事務所の移転も含めたハード面の整備、出土品をより適切に保存・保管するための環境を整備する	
4. 運営・体制	取掛西貝塚の適切な保存活用のため、運営体制を整備する	運営体制の整備	策定委員会に参加してもらっている。指導課に随時相談している。	計画策定後の体制が必要	①保存管理・活用の体制づくり(文化財部署・関連部署・土地所有者)	博物館連絡会議を通して、文化課・資料館・博物館・調査事務所などの文化財関連部署の連携を強化し、体系化した活用を目指す
					②保存活用を進めるための市民との連携を強化する	現地の自治会と連絡体制の構築、アンケートや説明会、ワークショップなどの手法を通して定期的に市民の意見や提案をくみ上げ、必要に応じて協働する
					③学校教育における活用を推進するための体制づくりを進める	学校教育部・教員と連携し、学校教育における活用を推進するための体制をつくる
			有識者の協力を得ながら継続調査中	史跡の価値を高めるため、学術的課題について継続研究を行う学術連携体制が必要	④調査研究を推進するための体制づくりを進める	継続研究について、各分野の専門家にアドバイザーとして指導・助言を受け、船橋市文化財審議会の意見をききながら調査研究を計画的に進める 研究機関・研究者・他自治体等と学術連携をはかる